

## 感震ブレーカーの設置等に対する支援の実施状況

---

# 感震ブレーカーの設置等に対する支援の実施状況

(R6年度の実施状況)

検討会委員からの情報を参考に、以下の自治体に対し住民が感震ブレーカーを設置する場合に利用できる支援事業の実施状況・実績等についてアンケート調査を実施。

自治体	対象地域	感震ブレーカー種類	支援内容	これまでの支援実績	今後の課題	備考
東京都	木造住宅密集地域	・ コンセントタイプ	無償配布	・ 非公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置率向上のため継続的な普及啓発が必要</li> <li>・ 感震ブレーカーの設置だけでなく、家具の転倒防止等を併せた総合的な対策が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東大震災100年を機にR5・6年度の2か年限定の普及啓発事業の一環として実施</li> </ul>
千葉県 千葉市	密集住宅市街地	・ 簡易タイプ	・ 購入金額の2分の1 (上限3,000円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30年度からR5年度までに計2,093世帯へ支援を実施 (H30年度・R元年度無償配布1,256世帯含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感震ブレーカーの認知度が低い</li> <li>・ 全ての分電盤に対応した製品がない</li> <li>・ 取付が難しい</li> <li>・ 販売店が少ない</li> <li>・ 自治会の負担が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会単位での申請</li> </ul>
神奈川県 横浜市	市内全戸 (一部条件あり)	・ 簡易タイプ	・ 購入金額の2分の1 (上限2,000円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H25年度からR5年度までに計21,036世帯へ支援を実施 分電盤タイプ：1,003世帯 (H25年度からH28年度) 簡易タイプ：20,033世帯 (H27年度からR5年度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通電火災の危険性、感震ブレーカーの必要性について理解が進んでいない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R6年度から市内全戸(自治体単位の申請に限る)へ支援対象を拡大</li> <li>・ 個人の申請については、「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」対象地域のみ</li> </ul>
石川県 小松市	市内全戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡易タイプ</li> <li>・ コンセントタイプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡易タイプ 購入金額の3分の2 (上限2,000円)</li> <li>・ コンセントタイプ 購入金額の3分の2 (上限8,000円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29年度からR5年度までに計530世帯へ支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感震ブレーカーの認知度が低い</li> </ul>	
和歌山県 串本町	町内全戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡易タイプ</li> <li>・ 分電盤タイプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入金額の2分の1 (上限5,000円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28年度からR5年度までに計20世帯へ支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感震ブレーカーの認知度が低い</li> <li>・ 補助事業の認知度が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌や出前講座にて補助事業を紹介</li> </ul>

※アンケート調査の回答を元に事務局で整理